平成30年度　音楽科　年間指導計画　第二学年　　担当　小林みのり

学期	月	題材名	配当時間	学習内容	各題材における観点別評価規準 評価規準・評価場面 音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
1	4	曲想の変化を感じ取り、表現を工夫して歌おう 「夢の世界を」「夏の日の贈りもの」 「翼をください」	4	・曲の構成や曲想の変化を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようにする。	A：表現・歌唱 ◆歌詞の内容（歌詞の言葉や意味、歌 詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景など）や曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆曲種に応じた発声、言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に 主体的に取り組もうとしている。 ◆声部の役割と全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて 歌う学習に主体的に取り組もうとしてい る。	A：表現・歌唱 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	A：表現・歌唱 ◆歌詞の内容や曲想を生かした曲にふ さわしい音楽表現をするために必要な技能（発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。 ◆曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 ◆声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて 歌っている。	B：鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連づけて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。
	5	曲の仕組みを理解し、オーケストラの名曲を鑑賞しよう 「交響曲第5番　ハ短調」	3	・曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評する。				
	6	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌おう 「夏の思い出」	3	・歌詞の表す情景を思い浮かべて、語感や強弱に気をつけながら歌うことができるようにする。				
1～2	7～10	速度や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌おう 「明日へ」各クラスの選択曲	8	・曲の速度や強弱の働きを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようにする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・実技テスト ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・実技テスト ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・期末考査
					A：表現・創作 ◆言葉や音階などの特徴に関心をも ち、音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	A：表現・創作 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、言葉や音階などの特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	A：表現・創作 ◆言葉や音階などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくっている。 ◆反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。	B：鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
2	11	舞台芸術と音楽との関わりを味わいながら聴こう 「アイーダ」「勧進帳」 「長唄勧進帳から」	3	音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、その良さの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かしたりすることができるようにする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・発表	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	
	12	アルトリコーダーでアンサンブルをしよう 「アンサンブルセミナー」 「ラヴァースコンチェルト」 「Time to say goodbye」	4	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏することができるようにする。	A：表現・器楽 ◆曲想に関心をもち、音楽表現を工夫 して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆アルトリコーダーの特徴に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	A：表現・器楽 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	A：表現・器楽 ◆アルトリコーダーの特徴をとらえた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。	
3	1	日本の伝統楽器の歴史、構造、特徴について理解し、基本的な奏法を身につけよう 「さくらさくら」「発展曲」	4	日本の伝統楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようにする	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・実技テスト ・期末考査	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・実技テスト ・期末考査	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・期末考査
	2	表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かして旋律をつくろう 「箏による創作」 「ここがわかればGread up!」（1年の教科書）	3	表現したいイメージを持ち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対象などの構成や全体のまとまりを工夫しながら旋律をつくることができるようにする。	B：鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素や 構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆我が国や郷土の伝統音楽及　び諸外国の様々な音楽の特徴　と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。	A：表現・器楽 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	A：表現・器楽 ◆アルトリコーダーの特徴をとらえた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。	B：鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連づけて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。
	3	感謝の気持ちを合唱で届けよう 卒業式で歌う歌 君が代　など	3	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。				
					評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・期末考査	評価の資料 ・ワークシート ・授業中の活動の観察 ・期末考査	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・ワークシート
配当合計時数			#					